

2007年12月22日発行

# ぷろす

四季の会・ユーズ・サービス

234号

発行人 浅沼 邦夫

拝啓 師走の候、先生におかれましては益々御活躍のことと存じます。

日本経済は大きな転機にあるようです。2008年の見通しは、かなり厳しい時代です。ガソリン・灯油高騰、原材料等高騰が、ことに地方の中小企業にダメージを与えはじめています。建築不況！建築確認申請が厳格化し、住宅着工が激減。その結果、木材、住設機器、鋼材、セメントなどの需要減。家具、家電などへと及び、景気全体へ、地方工務店や下請けへの影響が懸念されているのです。

米国景気の減退と円高傾向が続く。北京オリンピック後、中国の景気減速は不可避となる。企業の倒産が増加している。11月末で1万社を超え、さらに増える廃業や破綻が多くなるようです。経営者は環境適応業です。経営環境をしっかりととらえ、いかなる状況になろうとも我が社を守ることが経営者の使命です。悲観的になったりしないで、底力を出して、チャレンジ精神で頑張りましょう。

「いのちの言葉」があります。  
ありがとうの言葉で貧しさから救われ  
ありがとうの言葉で励まされ  
ありがとうの言葉で勇気を与えられた  
ありがとうが笑顔をつくり  
ありがとうが夢を生み出す  
ありがとうの仲間をいっぱい増やし、  
だから、ありがとうはいのちの言葉です。

## 目標は努力の母、進歩の父 やり続ける「八ニカミ王子」

人の心は、空間も時間も超えて存在でき

ます。過去にも、また未来にも心を飛ばして夢を描くことさえできるものです。

ゴルフ界で一躍人気者になった「八ニカミ王子」のニックネームで親しまれている石川遼君(16)は杉並学院高一年生です。

彼はことゴルフでは、卓越した実績の持ち主。その主なる所を列挙してみると、次のとおりです。

2004「横尾要カップ小学校選手権」埼玉県ジュニア選手権(中学の部)優勝。

2005「関東中学校ゴルフ選手権競技」全国中学校ゴルフ選手権大会優勝。

2006「埼玉県アマチュア選手権」埼玉県ジュニア選手権(中学の部)優勝。

2007「全国中学校ゴルフ選手権大会・春季大会」そしてプロの「マンシングウェアゴルフ選手権競技(男子15~17)の部」で優勝と、圧倒的強さを見せています。

彼の魅力は、平均飛距離と最後まで攻めの姿勢を貫く積極果敢さです。その強さの秘密は、陸上で鍛えた強靱な足腰ですが、そうした体力を築き上げているには、理由があります。そのことを裏付けるものが「埼玉県松伏町立松伏小の卒業文集」に明記されています。

### 「将来の自分」 石川 遼

2年後...中学2年生、日本アマチュア選手権出場。

3年後...中学3年生、日本アマチュア選手権(日本アマ)ベスト8。

4年後...高校1年生、日本アマ優勝、プロのトーナメントでも勝つ。

6年後...高校3年生、日本で一番大きなトーナメント、日本オープン優勝。

8年後...20歳、アメリカに行って世界最大級のトーナメント、マスターズ優勝。

これを目標にしてがんばります。マスターズ優勝はぼくの夢です。それも2回勝ちたいです。みんな(ライバル)の夢もぼくと同じだと思えます。でも、ぼくは2回勝ちたいので、みんなの倍の練習が必要です。

みんなが一生懸命練習をしているなら、ぼくはその2倍、一生懸命練習をやらないとだめです。ぼくはプロゴルファーになって全くの無名だったら「あの時にこうしていれば...」とか後悔しないようにゴルフをやっていこうと思います。

来年には埼玉の東京GCで行われる「埼玉県ジュニア(中学の部)」で優勝したいです。今は優勝とか関係ありません。中学生になってからそういうことにこだわろうと思います。高校生で試合に優勝すると外国に招待してくれます。その試合で世界から注目される選手になりたいです。

ぼくは勝てない試合には今は出ません。

ぼくの将来の夢はプロゴルファーの世界一だけど、世界一強くて、世界一好かれる選手になりたいです。

彼はこれからもこの文集で述べていることをきっと「やり続ける」ことでしょう。

人の心には、信じられないほどの多くの能力・パワーが秘められています。「将来」は若者のためだけにあるのではなく、大人にも将来はあります。彼から学ぶのは「目標は努力の母、進歩の父」ということです。

16歳の彼に学ぶことがあるのです。私たちは常に意欲的な目標を掲げ、具体化して大胆に取り組んでいきましょう。(社)倫理研究所法人局「今週の倫理」537号より

## 「年の神様」がいるのです

日本人は長い間、自然やものには神様が宿っていると信じてきました。山には山の神様が、台所の竈には竈の神様がというように、年には年の神様が宿っていて、正月には新しい年の神様がやってくると信じていました。「神様を喜ばせてあげると良いことを起こしてくれるだろう」と信じ、新しい年の神様を喜ばせるために、家の主人が先頭に立って家の大掃除をしました。そして門松を立て、家を飾り、餅つきをして神様においしい鏡餅を供えたのです。

こうして家の中をすっかりきれいにしていよいよ大晦日の夜になると、家族が寝ないで新しい年の神様をお迎えするのが、古くからの習わしでした。

現代では、年越しの準備もずいぶん簡単になり、大掃除をする家も少なくなりました。しかし、大晦日の夜は寝ないで新しい年を迎える習慣だけは、今も受け継がれているようです。

大晦日は、皆さんどのように過ごすでしょうか。掃除の行き届いた和やかな家には、新しい年の神様がきっと幸運をもたらしてくれることでしょう。(社)倫理研究所:「職場の教養」より参照です。

企業は継続、人の継続といわれます。トップの後継者としての事業承継も重要です。決算書を見るたびに貸借対照表をよくみます。我々は、「物と金」としての貸借対照表をみますが、潜在的には企業のトップとしての経営者、更に、経営者夫人、社員たちの心の具体的な行動や内的要因があるのです。貸借対照表の数字は25%で、人のウエイトが75%です。人の心の改善が会社を良くする基本だと思うのです。一年の年の神様で「P-D-C-A」の考え方でみればよくわかります。こんなつもりで来年も頑張りましょう。